整理No.	45

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	231-02	基本施策	生活環境の保全	所管部局	環境部
施　策　名	環境美化の推進			主担当課	環境政策課
				関係部局課	環境部生活環境課
施策の目標	監視体制や啓発活動を強化し、市民・地域などとの連携による美しい生活環境づくりを目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・たばこのポイ捨てやごみの不法投棄により、地域の生活環境や自然環境が脅かされているとともに、美観を損ねているため、環境美化に関する啓発活動をより一層推進していく必要がある。 ・美しい環境を保つためには、一人ひとりの環境に対する意識向上と地域の環境に対して関心を持つことが重要であり、そのためには継続的な啓発が重要である。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
不法投棄パトロール日数（職員＋民間委託）	延べ日数	501	282	282				280
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
職員及び民間委託による不法投棄のパトロール延べ日数	不法投棄防止ネットや監視カメラの設置により不法投棄がされにくい環境を整えることにより不法投棄パトロールの日数及び不法投棄回収の出動巣を減少させていくもの							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
ポイ捨て吸い殻本数	本	90	83	72				70
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
長野大通り交差点（10ヶ所）におけるポイ捨てされた吸い殻の本数	１回／月の調査の平均年間本数から、条例施行に伴う啓発活動の成果を推察するもので、ポイ捨てされる吸い殻の本数を第二次環境基本計画の目標値を目指すもの							

25年度の取組内容実績	不法投棄を行った者を特定するための警察への協力、行為者の特定が不可能な一般廃棄物について回収を行う。パトロールの実施、監視カメラの設置を行うことにより不法投棄をされにくい環境を整える。また、不法投棄防止の啓発活動を行う。 条例施行の周知を中心に、環境美化の啓発活動（路上シートの貼付、路線バスを活用した広告、懸垂幕の掲出等）やポイ捨て等の巡回調査を行う。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	不法投棄パトロールは、年間の出勤日数が減少、又たばこのポイ捨て調査では、年間のポイ捨てされる吸い殻の本数が減少していることから、啓発活動による環境美化への関心が高まったと思われるが、ポイ捨てや不法投棄がなくなる状況にないことから引き続き啓発をしていく必要がある。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	地域の環境美化については、地域住民などにより清掃等の環境保全活動に取り組んでいただいているが、地域外の人等の不法投棄によって、地域内での注意だけでは解決できない問題も出てきており、市全体の美化意識の向上が大切である。また、不法投棄については、不法投棄行為者、土地の所有者(管理者）が処理を行うべきものであるが、土地の管理が行き届かない状況が進行しており市の関与がなければ解決できない事案が増加している。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	市民の環境美化意識が向上し、不法投棄の出動回数、ポイ捨て本数のいずれも減少しており、順調に推移している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	不法投棄は、不法投棄の行為者、不法投棄された土地の所有者又は管理者が処理を行うべきものであるが、中産間地域を中心に農地や山林の土地の所有者の高齢化等により市の関与がなければ解決できない事案の増加が懸念される。	不法投棄行為者を特定するために、引き続き警察等への協力や、土地所有者（管理者）の自ら管理する土地の管理責任の自覚を更に促しながら事案の対処を行うとともに、不法投棄根絶の啓発活動を全市的に実施していく。
2	「ポイ捨て等防止条例」が施行され４年が経過し、環境美化向上への一定の効果を見せているが、全くなくなる状況ではない。	啓発活動によりポイ捨て本数は減少しているが、更に減少させていくためには、ポイ捨て等の行為者の年代や時間帯などを分析し、啓発活動の目的や対象者をより明確にし、効果的な事業を検討していく。

施策展開の方向性（H26年度以降）	平成27年度は、「ポイ捨て条例」が施行されて、初めての善光寺御開帳が開催される。多くの参拝客や旅行者が訪れ、ポイ捨て等の増加が懸念されることから、必要な施策を検討し、実施していく。 不法投棄パトロールの実施／警察と協力し、不法投棄を行った者の特定／不法投棄を行った者の特定できない一般廃棄物の回収／路線バス等を活用した啓発活動の広告／中止市街地、各支所への懸垂幕掲出／新たなメディアを活用した環境美化意識向上の啓発活動／中心市街地を中心としたポイ捨て等の巡回調査

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	不法投棄対策 ［サービス提供事業］ 生活環境課	不法投棄を行った者の特定、不法投棄された行為者の特定が不可能な一般廃棄物の回収、不法投棄されにくい環境をつくるパトロールの実施及び防止ネット、監視カメラの設置、啓発活動	不法投棄されにくい環境を整えることにより、不法投棄が減少している。
2	環境美化啓発 ［サービス提供事業］ 環境政策課	中心市街地での懸垂幕掲出や路線バスを活用した広告掲出又、ポイ捨て等の巡回調査を行う。	人が集まる中心市街地への懸垂幕の掲出、路線バスを活用した環境美化向上に向けた広告掲出等の啓発活動を行った結果、市民の環境意識も高まりを見せ、たばこの吸い殻ポイ捨て本数などは、減少している。
3			
4			

番号	事務事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成（進捗）状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	B	A	B	A	A	継続	15,478	16,048	12,856	12,323
2	A	A	A	B	B	継続	4,491	5,534	5,238	6,166
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26